

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	地域健康ケア計画策定事業	会計	一般会計	事業No.	240	施策順No.	31-003
		事業種別	政策・重点	予算科目	0予算事業		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり	課等名			保健課		
施策	31 心と体の健康づくり	事業期間	開始	21	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	地域健康ケア計画						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		地域健康ケア計画(計画数)			1	1	1	
	意図	適切な評価・検証を行う						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	計画策定数			1	1	1	1	A
	評価・検証しながら推進していく重点プログラム数				6	6	7	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	関係部署及び多様な主体と協議を行い、地域健康ケア計画2011を策定した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児から高齢者までを総合的にマネジメントしていくため、平成21年度から、地域健康ケア計画を策定し、推進する。 ・地域の健康と医療と福祉を総合的にマネジメントしていくため事業展開し、市民総健康・生涯現役の仕組みづくりを進める。 ・該当する各事務事業を拾い出し、健康をキーワードにした市独自の取り組みを展開する。 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	地域健康ケア計画2011の策定、2010の評価・検証 (1) プロジェクト会議の開催 (2) 地域健康ケア計画の広報、周知 (3) 横断的プログラムの展開	(1)プロジェクト会議の開催数 (3)重点プロジェクト数	(1) 3回 (3) 6事業
23年度実施計画	地域健康ケア計画2012の策定、2011の評価・検証 (1) プロジェクト会議の開催 (2) 地域健康ケア計画の広報、周知 (3) 横断的プログラムの展開	(1)プロジェクト会議の開催数 (3)重点プロジェクト数	

3 事業コスト

事業費	(千円)		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		その他				
	一般財源		0	0		
	計 (A)		0	0	0	
	正規職員所要時間			1,600		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計 (B)			5,722		
	トータルコスト A+B			5,722		

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民が心身ともに健康を保つ	施策の成果指標又はムツス指標	心身ともに健康であると感じている市民の割合 生活習慣病による65歳未満死亡率(飯田市の65歳未満人口を10万人と想定した時、年度ではなく年が基準)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	市民が心身ともに健康を保つために、「市民総健康」と「生涯現役」を目指した地域健康ケア計画を策定した。		
	後期に向けた課題	市民の健康づくりに対する意識向上を図るため、地域健康ケア計画の重点プロジェクトをよりわかりやすいものとし、市民にやさしい、楽しい取り組み提案していく。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	統合的アプローチの手法を取り入れ、各分野にある事業を「健康」をキーワードとしてつなぎ、庁内外の多様な主体と連携し取り組んだ。		
	後期に向けた課題	市民の健康づくりに対する自主性を確立させるため、多様な主体との協働により、継続性かつ実効性のある取り組みを推進していく。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	計画書をデータ化し、次年度以降の計画書作成事務を標準化した。		
	後期に向けた課題	印刷製本費の削減		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	特になし		
	後期に向けた課題	特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①市民、地域、行政の連携による計画の推進 ②多様な主体の協力体制を構築するため、依頼や説明等の打ち合わせを実施した、		
	後期に向けた課題	自発的な地域の取り組み		
全体を通じて	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--